

# 藤田東洋 Toyo Fujita (本名・藤咲一郎 Ichiro Fujisaku)

「プロ」野球選手とハリウッド俳優の二刀流

1884年12月25日生 茨城県出身 (Ibaraki)

1959年07月25日没 カリフォルニア州サンタクララにて (74歳)

1900年02月15日渡米 渡米船名 コプティック (Coptic) 15歳 自費留学

☆ 藤田東洋は 明治時代に 最初期の日本人「プロ」野球選手として「グリーン ジャパニーズ」や「JBBA」でアメリカ中西部を巡業した日系一世を代表する堅守巧打の野球選手です



Japanese Base Ball Association (1911)

- 【主な球歴】
- 1905年 羅府日本人野球倶楽部 (Japanese Base Ball Club of Los Angeles)
  - 1906年 グリーン ジャパニーズ (Guy Green's Japanese Base Ball Club, Lincoln, Nebraska, 1906)
  - 1907年 南加日本人野球倶楽部 (Nanka, Los Angeles, 1907-10s)
  - 1909年 日本野球協会 (JBBA Japanese Base Ball Association, 1909-12)
  - 1913年 デンバー日本 (Denver Nippon, 1913-14)
  - 1916年 マグナ野球団 (Magna Baseball Team, 1916-18)

☆ 俳優としての藤田東洋は早川雪洲(初期のハリウッド映画のスター)の無名時代からの恩人でした

別格で、茨城県出身の恩人・藤田東洋 (本名・藤咲一郎)を忘れてはならない。雪洲が提案した芝居「不如帰(ほととぎす)」を快く採用、いきなり主役までやらせてくれた座長である。

『セッシュウ！ 世界を魅了した日本人スター・早川雪洲』(中川織江・2012) 168頁



The Dragon Painter (1919) Uchida 役

【主な映画出演】 (\*は早川雪洲と共演した作品)

- \*ザ チート {当時 日本未公開} 1915年 原題: The Cheat
- \*蛟龍を描く人 1919年 原題: The Dragon Painter
- \*死線の勇者 1919年 原題: The Tong Man
- 東京の妖婦 1920年 原題: A Tokio Siren
- \*黒薔薇 1921年 原題: Black Rose
- \*かげろふの命 1922年 原題: Five Days to Live
- 紅ばらの唄 1925年 原題: Soul Mates
- オブライエン巡査 1930年 原題: Officer O'Brien
- 続フーマンチャー博士 1930年 原題: The Return of Dr. Fu Manchu
- \*太陽は東より 1932年 Taiyo wa higashi-yori
- \*国を護る者 日蓮 1935年 Kuni wo mamoru mono: Nichiren

「プロ」の野球選手で新聞記者、そのうえハリウッド映画の名脇役。しかも、劇団のリーダーで、野球チームではキャプテンやコーチ。

今回は、そんな昔の名選手「**藤田東洋**」に関する資料を紹介します。

藤田東洋（本名 藤咲一郎）は、1884（明治17）年12月25日茨城県那珂郡菅谷村（今の那珂市菅谷）に生まれました。

その後 1900（明治33）年2月、15歳でアメリカに留学します。

野球選手としての藤田東洋は、最初期の日本人「プロ」野球選手で日系アメリカ人一世の時代を代表する名選手です。

しかし、今の日本の野球史では、最初の日本人「プロ」野球選手は、三神吾朗（早稲田大学出身）とされています。

三神は、1914（大正3）年にアメリカの「オール ネイションズ」という「プロ」球団でプレーしました。

一方、藤田東洋は、その8年も前の1906（明治39）年に「プロ」の野球チーム「グリーン ジャパニーズ」の主力選手として、アメリカ中西部を約半年にわたり巡業していた事実が新たにわかったのです。

藤田東洋は、演劇の分野でも非凡な才能をみせました。

1903（明治36）年1月、藤田はロサンゼルスでの日本人による初の芝居興行（「忠臣蔵」）に18歳で出演しています。

また、藤田は早川雪洲（初期のハリウッド映画のスター）の恩人として知られ、彼自身も数多くの舞台や映画で活躍した名優でした。

藤田東洋は、「野球」と「映画」というアメリカの文化を象徴するふたつの分野で日系アメリカ人社会の基礎をつくった先駆者です。



COOLEYCROWS GET A SCALP.

This Time It Is That of Green's Japs of Tokio.

(Pre omitted)

Naito is in left field and **Toyo in the right suburb.**

Both are **artists in catching fly balls.**

In fact the catching of flies is where the Jap shines at the ball game.

He dances around watching the ball In the air, and just as he is about to nail it, he jumps off both feet. (After omitted)

The Topeka state journal April 20, 1906, LAST EDITION, p.09

〈翻訳〉クーリークロズ ゲット ア スカルプ

今回はグリーンの Japs of Tokio の話

(前略)

内藤は左翼手、藤田東洋は右翼手。

どちらも飛球をキャッチするアーティストです。

実際、フライの捕球は日本人選手が野球の試合で輝くところです。

彼は空中で踊るように捕球し、その瞬間に両足から着地します。(後略)

「トピカ・ステート・ジャーナル」紙 1906年04月20日、最終版09面より

◎藤田東洋について

- ◆「一九〇六年春、ネブラスカ州リンカーン市のグリーン氏が日本人野球チームを組織したい希望により、ダン・トビー氏をマネージャーとして、デンバーの増子東山を同伴、南加よりは吉瀬ショート、藤田東洋ファーストおよび斎藤紅丹を選抜して同年四月東行した」

『南加日本人野球史』(赤堀最・1956) p.30

- ◆「Toyo Fujita First Base

**A good hitter with a great glove, Fujita was the top Issei first baseman before World War I.**

He played on the 1906 Guy Green's team, for Nanka, the JBBA, and the Denver Nippon in

1913-14. Little is known about Fujita's life outside of the diamond.

〈翻訳〉藤田東洋 一塁手

藤田は 守備の上手な好打者で、第一次世界大戦前の一世を代表する一塁手であった。

1906年のガイ・グリーンチーム、南加、JBBA、1913-14年のデンバー・ニッポンで

プレーした。ダイヤモンド以外の人生については、ほとんど知られていない」

『THE PIONEERS OF JAPANESE AMERICAN BASEBALL』 (Robert K. Fitts・2021) p.61

- 日本対スパニシの仕合

▲藤田氏記録を破る

既報の如く昨日曜日午後一時より日本野球団は 二十三街とウェルトン街にて スパニツシユ、アメリカンチームと野球仕合をなしたり。当日天気好く、来観者八百名と称ぜられたり。(中略) 当日の異彩は藤田氏の三度のアットバットに三度のクリーンホームランにして、実に野球界の記録を破りたり

「コロラド新聞」1914 (大正3) 年05月11日付 3面

ロサンゼルス (廿四日) 《注: 二葉会は 藤田東洋が「座長」をつとめたとされる劇団です》

- 二葉会 発会興行 当市 正劇団 鶯夢会の両劇団は今回合併して二葉会と称し 従来不活発なりし劇界を振興し大いに其面目を一新せんと各団員の熱心奔走中なるが愈々其発会興行として来る十一月三日より三日間スプリング街エルクスホールに於て「後の不如帰」「水中の結婚」「地獄の刃」及び喜劇「文七元結」の芸題を演ずる筈にて従来の両団員の外 北部より来羅せる二 三の人も加われ居れりと 尚 会員一同は目下 風月堂下層の武徳会道場に於て毎夜 稽古に熱中し居れり」

「新世界」紙 1911 (明治44) 年 10月 26日付 6面

- 北米文芸協会発会式 ▲明春一月五日举行

(前略) 尚ほ同文芸協会にては同会規約第四甲、各事業部に修正を施して左の八部となし仮幹部をも左の如く定めたるが之等の仮幹部員は明春の総会に於て改めて正式に選挙すべしと

第一部新劇部 仮部長 藤田侍童 (後略)

「日米」紙 1912 (大正01) 年 12月 24日付 3面

## ◎藤田東洋の略歴

藤田東洋は1900年代後半から1930年代中頃にかけてアメリカや日本で活躍した日本人俳優・「プロ」野球選手です

- 1884 (明治 17) 年 12 月 25 日 茨城県那珂郡菅谷村 (今の茨城県那珂市菅谷) 出身 本名・藤咲一郎  
1900 (明治 33) 年 02 月 15 歳で渡米
- 1906 (明治 39) 年 04 月 独立巡業「プロ」野球チーム「グリーン ジャパニーズ」に入団 (21 歳)  
最初期の日本人「プロ」野球選手としてアメリカ中西部を巡業
- 1911 (明治 44) 年 04 月 独立巡業「プロ」野球チーム「日本野球協会 (J B B A Japanese Base Ball Association)」の  
主力メンバーとしてアメリカ中西部を巡業 (26 歳)
- 1918 (大正 07) 年 05 月 早川雪洲が設立した映画会社 (ハワース・ピクチャーズ・コーポレーション) に入社 (34 歳)  
※彼は それ以前から早川雪洲と親交があり 以後も多くの映画や舞台で早川雪洲と共演します
- 1959 (昭和 34) 年 07 月 25 日 カリフォルニア州サンタクララにて没す (74 歳)

## ◎藤田東洋の別名

- 藤田侍童子來伝せん 劇評家を以て其名を知られたル藤田侍童子は来月早々來伝すル由 知人迄通知なりしと云ふ (下略)  
「コロラド新聞」1911 (明治44) 年 10月 20日付 3面
- 社交俱樂部成らん ▲発起人はミカド野球隊 ▲後援者は国友ダクター  
ミカド野球隊が過般相談会に於て医学士国友信彌氏を部長に推薦したる事は已報の如くにして国友氏も推薦を容れ  
同野球隊のため尽力する事となりたるか、昨日キャプテン山崎東夢、コーチャー藤田藤葉氏等は国友氏と会見したる (下略)  
「コロラド新聞」1913 (大正02) 年 02月 25日付 3面
- 芝居の下町評判 ▲劇場で見たもの聞いたもの  
▲『常磐操の宗任 もよかったが彦根の竹島もよかった』(下略)  
「コロラド新聞」1915 (大正04) 年 03月 06日付 3面
- 藤田氏引籠り 本社員藤田東洋子は病気のため本日引籠中なり  
「コロラド新聞」1916 (大正05) 年 01月 13日付 3面

### 芸名の由来

「藤田東洋」という芸名は「藤田東湖」(江戸時代の水戸藩〔今の茨城県〕の武士で有名な学者)にちなんだもの  
《中川織江先生(早川雪洲研究家)のご教示による》

## ◎藤田東洋の『家族情報』(抜粋) "California Marriages, 1850-1945" / "California, County Birth and Death Records, 1800-1994,"

<https://www.familysearch.org/ark:/61903/1:1:H9ZX-LZW2> / <https://www.familysearch.org/ark:/61903/1:1:QGLW-LZJD>

### Ichiro Fujisaku's Spouses and Children

Name, Sex , Age , Birth Year (Estimated)	Ichiro Fujisaku , Male , 36 , 1885
Father's Name	E Fujisaku
Mother's Name	S Terakado
Spouse's Name, Sex, Age, Birth Year (Estimated)	Etsu Fukuchi , Male ,24 , 1897
Spouse's Father's Name	M Fukuchi ,
Spouse's Mother's Name	J Nakajima
Marriage Date , Place	30 Jun 1921 , Los Angeles, California, United States
Event Type , Source Details	Marriage , 77

Name, Sex	Yutaka Fujisaku , Male
Birth Date, Birthplace	03 May 1922 , Los Angeles, California, United States
Name , Sex	Tamotsu Fujisaku , Male
Birth Date , Birthplace	13 Aug 1923 , Los Angeles, California, United States

◎主な参考資料

『南加日本人野球史』（赤堀最・1956）

所蔵：野球殿堂博物館・宮崎県立図書館

『南加州日本人七十年史』（南加州日本人七十年史刊行委員会 編・1960）

所蔵：国会図書館 他

『セッシュウ！ 世界を魅了した日本人スター・早川雪洲』（中川織江・2012） p.168

所蔵：国会図書館 他

《 著者の中川織江先生には貴重な資料のご提供ならびに様々なご教示をいただきました 誠にありがとうございました 》

『THE PIONEERS OF JAPANESE AMERICAN BASEBALL』（Robert K. Fitts・2021）

《 Robert K. Fitts 様の著書からは重要な指摘や画像の一部などを引用させていただきました 誠にありがとうございました 》

「野球をしながら旅をして・・・ 1906(明治 39)年：三神吾朗(All Nations)以前の日本人「プロ」野球選手たち」(弘田正典・2022)

ユタ日報 (Yuta Nippo) 1918.04.19 3面 マグナ野球団の結成

<https://hojishinbun.hoover.org/?a=d&d=ytn19180419-01&e=-----en-10--1--img----->

所蔵：国会図書館・松本市中央図書館

ユタ日報 (Yuta Nippo) 1918.05.09 3面 早川雪洲の会社に入社した経緯

<https://hojishinbun.hoover.org/?a=d&d=ytn19180509-01&e=-----en-10--1--img----->

所蔵：国会図書館・松本市中央図書館

◎藤田東洋の『第一次世界大戦中の選択式兵役制度 徴兵登録カード』/『カリフォルニア州サンフランシスコ旅客リスト 1893-1953年』

<https://www.familysearch.org/search/record/results?count=100&q.birthLikePlace=Japan&q.givenName=Ichiro&q.sex=Male&q.surname=Fujisaku>

<https://www.familysearch.org/ark:/61903/1:1:CDXH-MB6Z>

/ <https://www.familysearch.org/ark:/61903/1:1:KZVF-RNT>

◎藤田東洋の『家族情報』 "California Marriages, 1850-1945"

/ "California, County Birth and Death Records, 1800-1994,"

<https://www.familysearch.org/ark:/61903/1:1:H9ZX-LZW2>

/ <https://www.familysearch.org/ark:/61903/1:1:QGLW-LZJD>

ふみ出せば その一足が 道となる その一足が 道である

— 清沢哲夫 「道」 1951年10月『同帰』所載 より —

今回は **藤田東洋**（最初期の日本人「プロ」野球選手）について  
調べてみました

みなさまのご意見 ご感想 新たな情報などもお待ちしております  
最後まで お読みいただき 誠にありがとうございました

2022(令和04)年 10月20日

著者：弘田正典(野球史研究)

発行：スポーツ文献社